

平成21年度 第1回 池田市図書館協議会会議録要録

<日 時> 平成21年7月12日(日) 午前10時～正午

<場 所> 池田市立図書館 2階会議室

<出席者> (委員) たつみ会長、丸山副会長、尾上委員、富阪委員、彭委員、吉永委員、
雨堤委員、牛島委員、村上委員
(事務局) 田淵教育部長、増田教育部次長、馬渡生涯学習推進室長、
塩川図書館長、上保石橋プラザ館長、他図書館職員3名

<傍聴者> なし

<審議案件> 1. 図書館池田駅前サービスポイントについて
2. 本館改修工事について
3. 今後の図書館サービスについて
 ボランティア活動経過報告
 コンピュータシステムバージョンアップとHP追加機能について
 ブックリストの作成と配布・公開
4. その他
 図書館まつりについて
 今後の日程について

<資 料> 1. 出席者名簿
2. 館内改修工事図面
3. 駅前サービスポイントの利用状況について
4. 今年度の図書館サービスについて
5. 「図書館ニュース3月号」
6. 「池田の教育」

事務局：時間になりましたので、第1回図書館協議会を開催させていただきます。まず、初めに田淵教育部長と、この4月に図書館長に就任いたしました塩川図書館長よりご挨拶申し上げます。<田淵部長挨拶> <塩川館長挨拶>
それでは、ここから議題に移りますが、議事進行は会長にお願いいたします。

会長：では審議案件に入る前に総合計画の進捗状況について、簡単に報告をお願いします。

事務局：総合政策部におきまして、現在ワーキングシートを調整中です。ご存知かと思いますが前図書館長が総合政策部の次長として総合計画策定の中心的な役割を担っております。また、14期の図書館協議会委員の方も総合計画審議会委員をされていますので、お力になっていただけるものと思います。

会長：また進捗状況に変化がありましたらご報告願います。では、議題に入っていきたいと思えます。まず、池田駅前サービスポイントの利用状況について報告願います。

事務局：この6月3日より開設しました駅前サービスポイントの利用状況を報告させていただきます。サービスポイントでできることは、本の返却と予約本の受取り、予約の受付の3点です。利用状況につきましては、オープンして1か月ですのでまだ何ともいえませんが、6月分ですと、貸出しの平均が約15人で23冊、返却が27冊、7月には貸出冊数が30冊、返却が50冊を超え、利用は順調に増えてきています。特に土・日曜日の返却はかなり多く、利用者は30～40歳代が一番多く、時間帯では夕方、特に午後6時過ぎの利用が多くなっています。予約状況からみまると、ネット予約が8割を超えているところからも分かりますが、ネット予約をして、駅前サービスポイントで受け取るといった利用方法が多いようです。

会長：何かご質問はございますか。

委員：運営は文化振興財団に委託しているのですか。

事務局：そうです。

委員：広報はされたのですか。

事務局：市広報、市及び図書館ホームページ、館内掲示、市内施設への掲示等で行っています。

委員：サービスポイントの位置が分かりにくい上に、表に掲示がないのが利用者にとっては分かりにくいのではないですか。

事務局：その点に関しましては駅構内という場所柄思うように掲示ができない状況にありますが、何らかの方策を講じたいと考えております。

委員：名称についても、「サービスポイント」ではなく、本の貸出・返却ができるということが利用者に分かり易い名称を考えたらどうでしょうか。

事務局：本を置いていないが、図書館の本を受け取ることができるということが分かるような名前を考えたいと思えます。

会長：次に、館内工事について説明願います。

事務局：9月の特別図書整理期間中に館内の改修工事を行います。1Fのカウンターを前面に出し、エントランスから見える位置に替えます。初めて来られた方にも総合案内ができ、利用者に分かり易い配置となります。また、カウンターの移動に伴い、書架の設置場所も移動しますが、この機会に1階と2階の配架を見直します。今まで同じ分野の資料が1階と2階に混

在していましたが、1階には文学を、2階には文学以外の資料を配架しますので、利用者に分かり易い配架になると思います。

次に空調工事についてです。以前より空調設備の老朽化が問題になっていましたが、現在集中管理方式の空調設備の一部を個別空調に切り替えます。個別空調工事は開館中から行いますが、地下集中管理方式の大型空調工事に関しましては休館して行う必要がありますので、これも特別図書整理期間を利用して行います。館内の設備移設工事と併せて行うため今回の特別図書整理期間は例年より長くっております。

会長：次に3番目の議題「今年度の図書館サービス」について説明をお願いします。

事務局：先ず、ボランティア活動経過について、登録者は18名、5月より活動を開始しましたが、平均ひとり当たり1週間に1～2回、多い方はほぼ毎日来られています。反対に一度も参加されていない方もいるといった状況です。今秋の図書館まつりのリサイクルブックフェアの管理もしていただく予定です。今後の運営のあり方に関しては日々の活動を通じ、また定期的に会合を持ちながら考えていきたいと思っています。

次に、図書館ホームページについてですが、「新着資料案内」「おすすめリスト」「書評管理(ブックレビュー)」の新機能を追加し、8月より運用を開始します。今までの予約機能にプラスして、ホームページ上でいろいろなことができるようになります。この他、ホームページに関しましては、様々な情報提供をしていく予定です。特に郷土資料に関しては、各種データを蓄積してデータベース化を図っていきたいと考えます。現在は「郷土文献リスト」に取り組んでいます。これは、池田に関する人物・事項を取り上げ、簡単な説明を加え、関連文献を紹介するものです。また、郷土資料以外でも、話題のテーマ、カウンターでよく質問を受けるテーマに関してもリストの作成や資料展示などを通して広く紹介していきます。

次に、ブックリストの作成についてですが、利用者にどんどん読書案内を行って行こうと考えています。現在夏休みに向け、子ども向きのおすすめブックリストを作成中です。今後、HPの「書評管理」に寄せられたブックレビューに加え、カウンターでは利用者に「おすすめの本」を募集し、図書館側だけでなく利用者による「おすすめの本」といったブックリストも作りたいと考えています。

委員：「池田の教育」を見ますと、レファレンスの件数が少ないですね。この前の答申にもありますように、課題解決をめざすと書いてありますが、このデータを見ますと、利用者の図書館利用目的はそういうところにあるわけではないと想像されます。今後の課題としてレファレンスをどう充実していくのか考えていかななくてはいけないのではないのでしょうか。そのためにはレファレンスの内訳のデータも出す必要がありますね。

郷土文献リストの作成などは良いことだと思います。これはレファレンスにも繋がっていくことであり、この類のレファレンスはこの図書館でしか受けられないことなので、是非進めていかれるのがよいと思います。もうひとつ、図書館の公文書館的な役割も重要なことです。池田市の政策決定過程の内容が分かる行政資料も加えること、つまり池田市がどんな政策を立案・決定していくのかがわかるようにできれば良いと思います。

行事や展示の内容に関して、課題解決に繋がるような図書館行事も加えてはどうでしょうか。

事務局：レファレンスの統計に関しましては、簡単な所蔵調査、学校からのレファレンス依頼の数は含まれておりません。レファレンスの記録も、事実調査など今後レファレンスに役立つであろうと思われる事例のみを記録していましたが、今後はきちんと記録に留めていきたいと思います。

委員：あと1点、図書館の利用目的調査も必要かと思います。この図書館を課題解決図書館として利用されようとしているのか、その他この前の答申の中に掲げられていたことを図書館施策としてやっていく上で、それが利用者に必要な図書館サービスとして受け取られているか、逆に言うと答申の評価ということも必要だと思われます。答申が今後市の総合計画の中に位置付けられると思いますので、追跡調査も必要かと思います。

委員：ここに「図書館ニュース」をいただいておりますが、利用者向けの案内以外に、新しく池田市に転入されてきた方向けの案内もあっていいのではないかと思います。それから、読書クラブのようなものもあっていいのではないのでしょうか。

委員：以前にもこの図書館を問題解決型にするか滞在型にするかと議論しましたが、この図書館は中途半端な感じがします。蔵書ももっと充実しなくてはならないでしょうし、滞在型という観点から見ると、有料化した駐車場、縮小したくつろぎスペースの問題があります。自習室の活用等、館内のスペースをもう一度見直す必要があると思います。

委員：ボランティアの活動についてですが、いろいろな経験を積んだ団塊の世代の方たちもいらっしゃるわけですから、その方たちの経験や知識を活かすようなボランティア活動ということを考える必要があります。

委員：一方で図書館とは司書が仕事を担うのが基本ですから、あくまでも補助としてお手伝いいただくということをはっきりしておかなければなりません。

会長：いろいろ意見も出尽くしたと思います。では、今度図書館まつりが開催されるということですが、今回オープンカフェはどうでしょうか。

委員：最初快適な図書館づくりを考える上でひとつの試みとして行ったわけですが、今までの2回は好評でした。またそれを市民やボランティアの方が引き継いでくれないかと考えていたのですが、そういう声は聞こえません。喫茶コーナーが図書館に必要かどうか、今後の図書館づくりに活かすことが目的ですから、毎年決まったときだけ開くというのは意味がないので、区切りをつける必要はあるかと思います。

会長：将来的なことを今ここで議論する訳にはいきませんので、とりあえず図書館まつり実行委員会が近々にありますので、どうするか、これを最後にして次のステップにするかということですね。その場でリサーチをしてはどうですか。図書館まつりの間にアンケートをして、その結果を基に今後の図書館づくりを考えるということにしてはどうでしょうか。

<全員賛同>

会長：では、本日はこれで閉会致します。次回は11月29日(日)午前10時から開催しますのでよろしくお願ひ致します。